

## IFA経由のヘッジファンド販売が増加

### エアーズシー証券、業界動向の情報提供も

エアーズシー証券は独立系ファイナンシャルアドバイザー（IFA）を介したヘッジファンドの販売が増加している。提携するIFAは現在30件（法人24社、個人6人）で、2022年12月の運用資産残高は21年同月に比べ、約10%増の225億円に達した。「(既存の法人だけでなく)個人で運営しているIFA、異業種から新たに参入するところに、業界情報を提供するなど運営上のサポートを進め、連携を広げたい」(狩野純一取締役)としている。

エアーズシー証券はヘッジファンドを主にリテール向けに販売する独立系の証券会社として、03年12月に発足した。取り扱う私募の投資信託は現在7本で、内訳は安定型4本、テーマ型2本、インデックス型1本で構成される。このうち安定型に分類される、スイスに拠点を置くビ

クトリー・アセット・マネジメント・アーゲーが運用する投信がいわば基幹商品で、昨年末の残高は123億円に上る。当該投信はグローバル株式においてロング（買い）とショート（売り）を組み合わせるレバティフ・バリューが基本戦略で、相場全体の変動に大きく左右されない比較的低リスクの運用を特徴とする。運用成績は08年のファンド設立以来、歴年ではプラスを維持しているという。「欧米ではヘッジファンドをポートフォリオに組み込む富裕層が少なくない。(基幹投信を軸に)日本の富裕な個人投資家にも同様の運用を提案したい」(狩野氏)。

同社は昨年春より「AS絆レポート」と題する資料を定期的にIFA向けに配布、取引のある主要なIFAなどの活動状況を紹介するなど業界動向の情報提供を強化している。

本件記事は株式会社格付投資情報センター（R&I）が発行する「ファンド情報」404号（2023年4月10日号）より同社の承諾を得て使用しています。

R&Iは、本件記事の利用によって生じたいかなる損害についても負担しません。

またR&Iは、特定の有価証券の価値などを示したり、かかる有価証券の価値などやその分析に基づく投資判断に関して助言を行ったり、特定の投資行為を勧誘するものではありません。

本件資料はエアーズシー証券株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

本資料は信頼できる情報に基づき作成しておりますが、含まれる情報の正確性や安全性、また、使用された市場情報源の正確性や信頼性を保障するものではありません。

エアーズシー証券株式会社は、本件資料の分析、又はこれに関連した分析の使用により生じたいかなる損失にも責任を負いません。

エアーズシー証券株式会社の許諾なしに、本件資料の一部又は全部を引用または複製することを禁じます。

エアーズシー証券株式会社 金融商品取引業 関東財務局長(金商)第33号

宅地建物取引業 東京都知事(3)第94155号

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-2-10 鉄鋼会館1階

TEL 03-6225-2747(代表) メールアドレス:info@airssea.co.jp